

オフセット・クレジット売買契約書調印式 次第

日時：令和4年5月30日（月） 9:00～9:45

会場：倉吉市役所 本庁舎3階 第2会議室

1. 開会（司会：中部森林組合）

2. 出席者紹介

3. 売買契約書署名

4. 写真撮影

5. 優良企業認定

6. 写真撮影

7. 挨拶

鳥取県 代表理事組合長 栗原 隆政

鳥取県中部森林組合 代表理事組合長 小川 克彦

倉吉市 倉吉市長 広田 一恭

鳥取県中部総合事務所 所長 門脇 誠司

7. 質疑応答

8. 閉会

3 クレジットを使う

活用方法や活用事例は、「活用方法」「取組方法」「マーク」「事業者名」で検索できます。ご参照ください。
 ■J-クレジット制度HP: 活用事例一覧
https://japancredit.go.jp/case_search/



再エネ発電・再エネ熱由来のJ-クレジットはCDP質問書・SBTでの報告、再エネ発電由来のJ-クレジットはRE100達成のための再エネ調達量として活用できます

ODPとは 投資家向けに企業の環境情報の提供を行うことを目的とした国際的なNGO。気候変動等に関する事業リスクについて、企業がどのように対応しているか、質問書形式で調査し、評価したうえで公表するもの。
 SBTとは パリ協定が求める水準と整合した、5年～15年先を目標として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標のこと。
 RE100とは 事業活動で使用する電力を、全て再生可能エネルギー由来の電力で賄うことをコミットした企業が参加する国際的なイニシアティブ。

温対法の排出量調整、電気事業者の排出係数調整に活用できます

温対法（地球温暖化対策の推進に関する法律）における排出量報告の調整に活用できます。また、電気事業者が、温対法の算定・報告・公表制度で公表される電気事業者別排出係数や、メニュー別の排出係数の調整に活用できます。



カーボン・オフセットに活用できます

環境への貢献PR、企業や商品の差別化、ブランディングに利用可能です。CO2を実質排出しない会議（オンライン含む）の実現のため、CO2排出量の算定ツールをホームページでご紹介しています。

カーボン・オフセットスキーム (How to) は、こちらをご参照ください。
<https://japancredit.go.jp/case/scheme/>



お問合せ先

制度全般に関するお問合せ

国内クレジット、J-VERもこちらへ！

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 環境エネルギー第2部 J-クレジット制度事務局

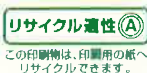
TEL: 03-5281-7588 / E-mail: help@jcre.jp

【受付時間】 平日(月～金) 9:30～12:00 / 13:30～17:30

関係省庁

- 環境省 地球温暖化対策課 市場メカニズム室 TEL: 03-5521-8354
- 経済産業省 環境政策課 環境経済室 TEL: 03-3501-1770
- 農林水産省 環境バイオマス政策課 地球環境対策室 TEL: 03-6744-2473

J-クレジット制度ホームページ <https://japancredit.go.jp/>



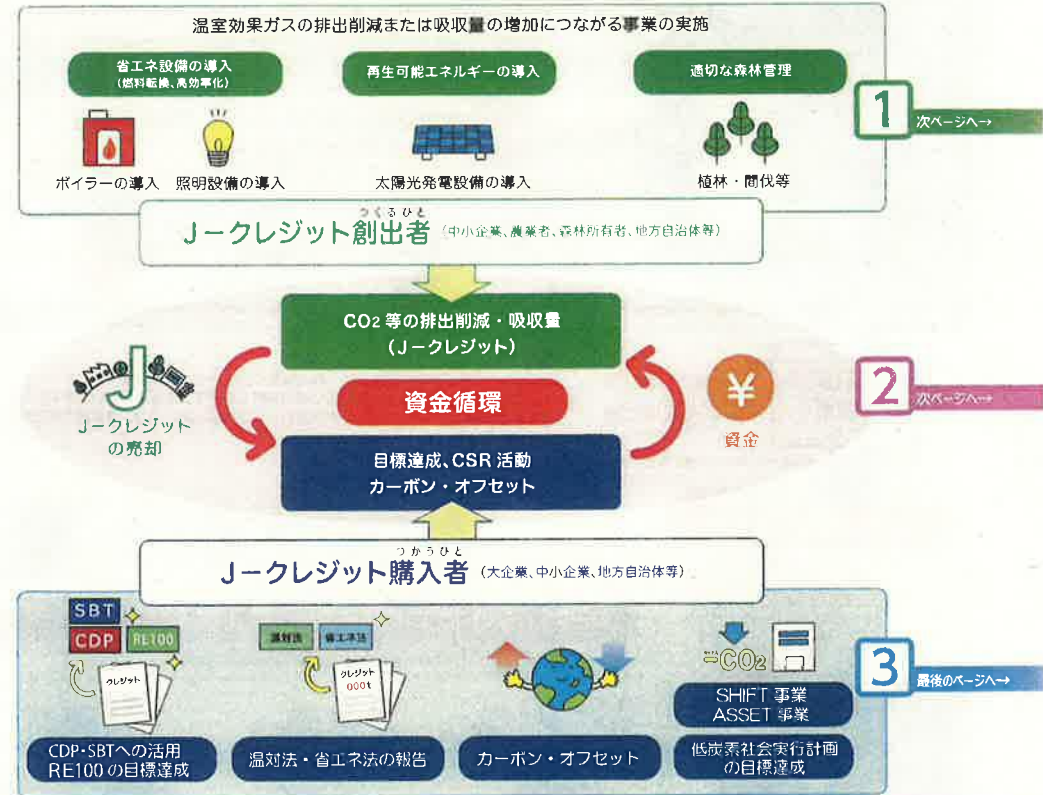
本パンフレットは、印刷過程で排出するCO2を計算し、森林吸収由来クレジットによりカーボン・オフセットしています。
 (C) 2021 J-クレジット制度事務局



J-クレジット制度



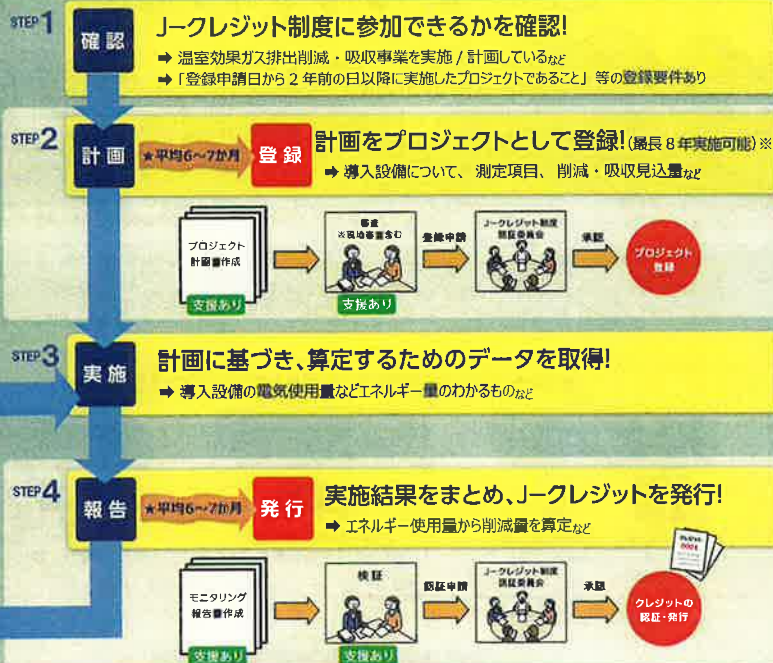
J-クレジット制度とは、省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO2等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO2等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。



認証されたクレジットは、購入することができ、温対法報告における排出係数の調整やカーボン・オフセット等、さまざまな用途に活用できます。また、クレジット購入代金は、クレジット創出者に還元され、さらなるCO2等の排出削減・吸収の取組や、地域活性化等に活かすことができます。

1 クレジットを創る

登録した計画に基づき算定されたCO₂等排出削減・吸収量が、J-クレジットとして発行されます。

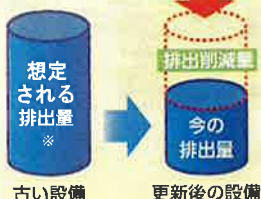


- 書類作成支援
 - 審査費用支援
- プロジェクト計画書の作成支援や 審査機関にプロジェクト計画書・モニタリング報告書を審査してもらう際の費用の支援が受けられます。支援条件がありますので、各種支援の詳細は「J-クレジット制度HP」を参照いただくか、事務局にお問合せください。

*支援内容・条件は年度毎に見直しを行いますのでご注意ください。

クレジットの考え方

これがクレジットになります!



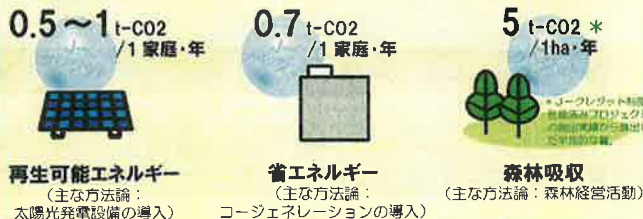
※更新後の設備のアウトプット(生成熱量・発電量等)を古い設備で賄う場合に想定される排出量

申請手続支援のページをご参照ください。
<https://japancredit.go.jp/application/support/>



J-クレジットの1年間の創出量(参考)

ご参考までに、1年間のJ-クレジット創出量を代表的な方法論別に示します。



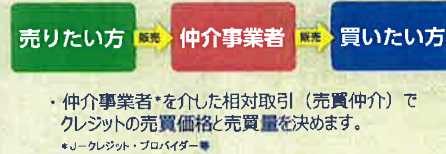
2 クレジットを売る/買う



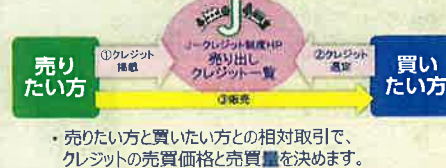
J-クレジットは、「相対取引」と「入札販売」の2つの方法で売買できます。「J-クレジット制度HP」に、売出しクレジット一覧、今後の入札予定、過去の入札結果等を掲載しています。

相対取引

■ 仲介事業者を利用する場合

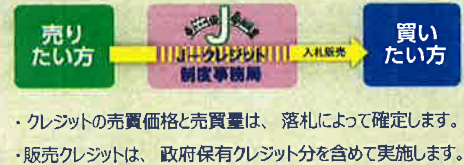


■ J-クレジット制度HPを利用する場合



入札販売

J-クレジット制度HP「売出しクレジット一覧」に掲載後、6か月以上取引が成立していない場合、希望者は入札販売の対象となります。



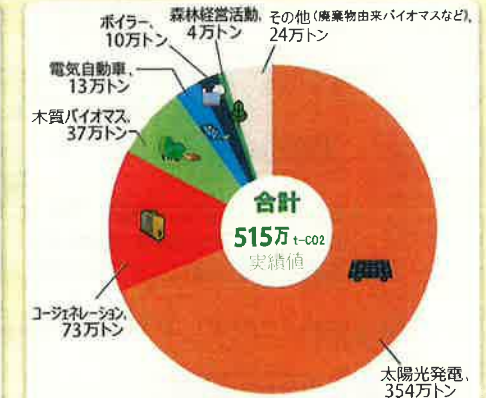
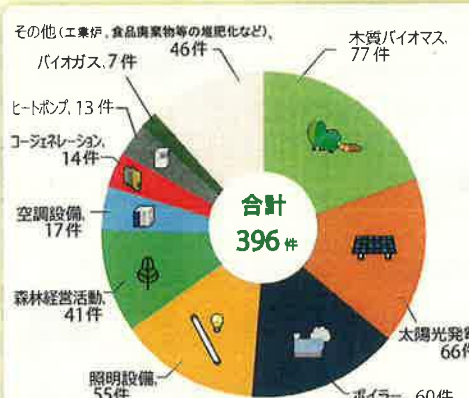
クレジットの平均落札価格は、「J-クレジット制度HP」に掲載されている入札販売のページをご参照ください。
<https://japancredit.go.jp/tender/>



方法論*ごとの登録件数と削減・吸収量

*方法論: 排出削減・吸収に資する技術ごとに、運用範囲、排出削減・吸収量の算定方法及びモニタリング方法を規定したものです。

各方法論の登録件数と、登録された削減・吸収活動から創出されたクレジットのトン数は以下の通りです。最新のデータは資料集のページをご参照ください。
<https://japancredit.go.jp/data/>



資料データ 2013年~2021年8月(第46回監事委員会)まで